

ミニボートを 安全に楽しむために

これだけは守りたい ルールと マナー

ボートを出さない勇氣、 早めに引き返す決断も必要

コンディションがよくないときは出航しない、海況が悪くなったときはすばやく帰港する。

遠くまで行かない

ミニボートは沖まで出られる乗りものではない。岸から数百メートルの範囲で楽しむこと。

ライフジャケットは必ず着用

落水したときに命を守ってくれるライフジャケットの着用は必須。膨張式は点検も怠りなく。

船長としての心構えを持つ

操船者には船長としての責任があることを自覚する。水上の交通ルールを守ることも大切。

夜間は乗らない

危険がいっぱいの夜間に乗るのはもってのほか。日の出・日没時、霧が発生したときも同様。

旗を立てよう

波間に隠れて他船から見つけにくいミニボートでは、衝突を避けるためにポールと旗を立てる。

携帯電話+防水パックを 必ず携帯

緊急時の連絡、気象情報の入手手段として必要な携帯電話は、防水パックに入れて携帯する。

天気予報のチェックは忘れずに

前日、当日、そして海に出てからも天気予報をチェックし、天候や海況の変化に注意を払う。

ボート下ろし場所でのマナー

迷惑駐車、ゴミの置き去り、漁港の設備や漁具を壊す、といった地元で迷惑をかける行為は厳禁。

燃料満タンを確認

もし海上でガス欠になったら即、漂流だ。燃料タンクを満タンにし、予備の燃料も搭載する。

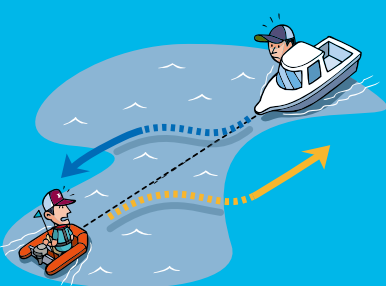
オール、アンカー& アンカーロープは必ず載せる

エンジントラブルに備えるオールと、漂流を食い止めるためのアンカーとロープを載せておく。

水上の交通規則 基本の4ルール

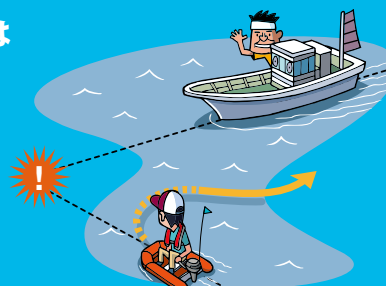
「右側通航」

航行中、ほかの船が真っすぐこちらに向かって来る場合、お互いに舵を右に切ってすれ違う。



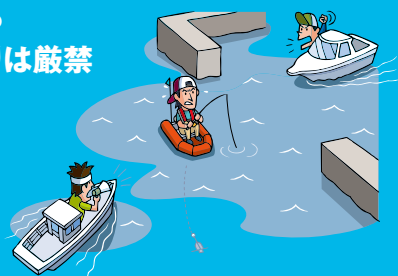
行き会い船は「右方優先」

2隻の航行中の船が互いの進路を横切るケースでは、「相手を見る船」が相手を避ける。



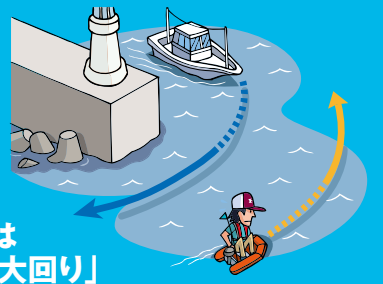
港の入り口や 航路での釣りは厳禁

船の往来が多く、見通しの悪い港の入り口や航路では、ボートを止めて釣りなどはしてはいけない。



防波堤の突端を右に見て走るときは近くを(小回り)、左に見て走るときは離れて(大回り)走る。

港の入り口では 「右小回り、左大回り」



ほかの船には近づかない

ルールを守るのが基本だが、ミニボートでは、できるだけ他船と進路が交わるような距離に近づかないようにしましょう。